

平成20年7月4日

プレス発表のお知らせ

報道機関 各位

国立大学法人 東北大学

Tel:022-217-5422(電気通信研究所総務課研究協力係)

現実世界と仮想世界(セカンドライフ)の融合へ向けた新しい実証実験 ー 北海道放送の「洞爺湖サミット」報道を擬似生中継しながら ー

7月7日から現実世界で始まる「洞爺湖サミット」報道(北海道放送)を擬似生中継しながら、仮想世界のセカンドライフ内において、現実世界と仮想世界の融合や通信と放送の融合に関する世界的に新しい試みである実証実験を行います。

本実証実験は、東北大学(白鳥・菅沼研究室)、山形大学(田北研究室)の研究に基づき、北海道放送と連携し、東北大学環境科学研究科と山形県飯豊町の協力を得て実施します。

<実証実験の目的>

1. 情報科学の観点から、現実空間と仮想空間の融合の理論、モデル、方式についての知見を得る。
2. 都市経済及び情報経済の観点から、従来に無い大規模なイベント「洞爺湖サミット」を対象として現実空間とセカンドライフにおける放送事業者と利用者の行動について探る。
3. 情報科学と経済・経営の両方の観点から現実空間と仮想空間の融合に基づいた新しい放送の可能性を探る。

<実証実験の特徴>

1. 対象イベント

現実空間における「札幌雪祭り」や「企業内におけるパーティー」などのローカルな小規模なイベントについては、セカンドライフ上にリアルタイムで導入・表示した個別的な事例がある。一方、今回対象としている「洞爺湖サミット」は世界的に注目されるグローバルな**大規模イベント**である。

2. プロジェクトの形態

従来の事例では、個別の単独組織によって推進された。今回は大学の研究を基盤とし、大学(東北大、山形大)・民間の放送局(HBC)・地方自治体(山形県飯豊町)が協力・連携しながら推進。このように**研究から応用まで**カバーする総合的なプロジェクトは、これまでにない。

3. 3次元空間による地域からのグローバルな情報発信

インターネットとは異なる「**3次元空間**」により地方自治体、民間放送局、大学が世界的な規模で情報発信を可能とする実証実験。

プレス発表の要領

- (1) 日時 : 平成20年7月7日(月) 14:00
- (2) 場所 : 東北大学電気通信研究所 2号館 2階 W214
仙台市青葉区片平2-1-1
- (3) 出席者 : 白鳥 則郎 教授 (東北大学), 田北 俊昭 准教授 (山形大学)
- (4) 発表形式 : 1) 配布資料とスライドによる説明
2) 会場でのデモンストレーション
- (5) 問合せ : 東北大学電気通信研究所・白鳥則郎 (022-217-5453)